



4/22 避難訓練 自主防災を考えよう

4/22（水）に今年度最初の避難訓練を行いました。今回は、給食場からの出火を想定しての「**火災の避難訓練**」でした。非常ベル、非常放送の後、グラウンドのテニスコート付近に、全員が整然と素早く避難することができました。

今回、玉島消防署の勇崎出張所から、4名の消防士の方に来ていただきました。避難の注意点を聞いた後、消火器を使った消火訓練を6名の代表生徒が体験しました。安全ピンを抜いて、ホースの先をもって、火の根元を狙って消火するのですが、消火器の重さに驚く生徒、操作に戸惑う生徒もいました。だからこそ、いざという時のために、このような訓練が必要だと感じました。また、消火訓練後に、消防車や救急車の中も見学させていただきました。

火事がおきたら・・・(消防士の方のお話より)

- ①火事だと叫び、周囲に火事を知らせること。
- ②初期消火に努めること。
- ③煙を吸わないように、低い姿勢で逃げる
- ④逃げたら戻らないこと

その他の注意点(消防士の方のお話より)

- ①中学生になったら、自分の命だけでなく、できるだけ周りの人も助けてほしい。
- ②商業施設や宿泊先等では、避難経路を確認してほしい。
- ③家に帰ったら、住宅用火災報知機があるかどうか確認してほしい。



避難訓練を終えて(生徒感想より)

- ・避難するときには、「お（押さない）・は（走らない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）」を守りながら、安全に行動することが重要だと思いました。
- ・小学校などでは、自分の命を守ることが一番だったけど、中学生になると、自分だけでなく、周りの人のことも考えて行動しなければいけないと知りました。
- ・救急車や消防車を見学して、消防車にはどんなところでも火を消せるような工夫、救急車にはどんな時でも助けられるような工夫があり、勉強になりました。



令和8年4月1日スタート

受付時間

平日	19時～翌朝8時
土曜日	18時～翌朝8時
日・祝・年末年始	24時間

救急車に「#7119」というステッカーが貼ってありました。???と思い、調べてみました。これは、『急な病気やけがになった時、「病院へ行った方がいいのか?」「救急車を呼んだ方がいいのか?」などの判断に迷った際に医師や看護師から直接相談ができる電話窓口のことです。相談者から伝えられた情報をもとに、応急手当についての助言や医療機関の案内、緊急性が高いと判断した場合は、119番通報を依頼するなど、状況に応じた対応を行っています。(倉敷市HPより)』とのことでした。私自身、勉強になりました。